

坪 平 遺 跡
森 平 遺 跡
御 射 山 遺 跡

2005

長野県富士見町教育委員会

例 言

- 1 本書は、平成16年度に国から国宝・重要文化財等保存整備費補助金の交付を受けて、富士見町教育委員会が行った坪平遺跡、森平遺跡、御射山遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は11月9日から11月29日、整理作業は12月2日から翌年2月10日まで行った。
- 3 発掘調査は樋口誠司・小松隆史が担当した。また本書の執筆、編集は樋口誠司が行った。
- 4 本報告にかかわる出土品、諸記録は井戸尻考古館が保管している。
- 5 調査担当者および発掘作業員は以下のとおりである。

調査担当者	樋口 誠司	小松 隆史				
発掘作業員	朝香 輝朗	植松 好秀	川上小夜子	小平 辰夫	小林ノリ子	
	小林 道子	小林やす子	佐藤 裕子	名取 良平	平出 文子	

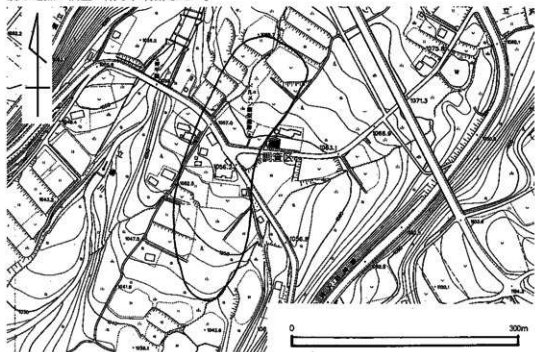
1 坪平遺跡

本遺跡は立沢区の南西、立場川左岸の低地に位置する。大正の末年、郡誌編纂調査の一環として、民族・考古学者の鳥居龍藏博士らによって壺石を伴う石棺状の遺構2基が調査され、「ドルメン類似遺跡」と称せられた。

平成10年、この東側を住宅建築に先立って調査し、小堅穴3基ほかを検出している。今回の調査区は道路を挟んださらにその東側で、やはり住宅建築に先立っての発掘である。

黒褐色の表土を除去すると、大小の礫がほぼ平らな面をなし広がっていた。の中には石積みや組石遺構など人工的な施設は見当たらず、黒曜石の小片や縄文時代後期掘之内式の土器片が数点出土したにすぎない。地山に咬みこんでいる礫も多く、礫面からロームまで厚いところでは50cmほど黒褐色土があり、多量の小礫が混じっている。なおこの土層中からは、遺物や炭粒などは得られなかった。地山は南側に低くなっていることから、この場所自体が埋没した沢であるらしい。

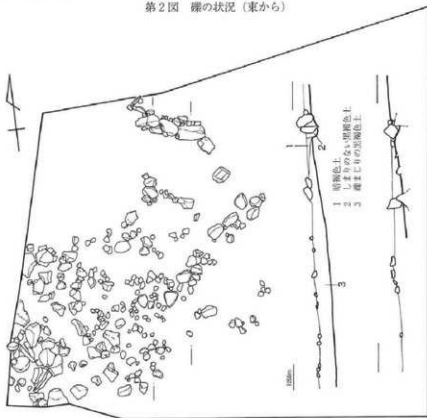
平成10年の調査において礫が多くみられた同様な埋没沢を検出したが、それにつながるようである。これらの礫および遺物は、上流よりもたらされた自然の堆積によるものと思われる。しかし北側の発掘境のそれは、石を4つほど連ねて周囲に小石を並べたかのようでもあり、下部の土層も周囲と違っていた。ただこれを人工的なものとする根拠は実際のところ十分ではない。今後、別な地点の調査に期し、判断したい。



第1図 坪平遺跡周辺地形図 (1:5000)



第2図 礎の状況(東から)



第3図 礎の状況図(1:100)

2 森平遺跡

森平遺跡は切掛川西岸の尾根上に位置する。昭和58年、工場の駐車場建設に伴い、縄文前期中葉黒浜期の住居址2軒ほかを発掘している。今回の調査区はその南側で、尾根の西縁にあたる。

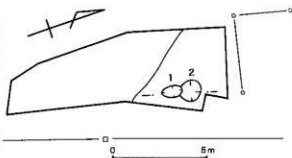
褐色の耕作土を40cmほど除去すると、ロームの固い面となった。4m西側では25cmほど低くなり、そこからは急激に傾斜している。既に埋め立ててあり、盛り土の下はハードロームの硬い面となっていた。遺構は北東の高い個所にあり、小竪穴2基を調査した。

1号小竪穴は、遺構の確認面まで攪乱を受けていた。南北に長い円形を呈する。堆土は多くのローム粒と、少しの炭粒を含む暗褐色土で、下層はよくしまっている。

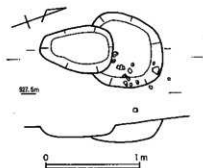
2号小竪穴は径1.2mの壺状の穴で、底は平らである。堆土は炭粒を多く含む黄褐色土。上面の東側に小石と前期中葉黒浜式の土器片が散在していた。



第4図 森平遺跡周辺地形図 (1:10000)



第5図 遺構全体図 (1:200)



第6図 1, 2号小竪穴 (1:60)

3 御射山遺跡

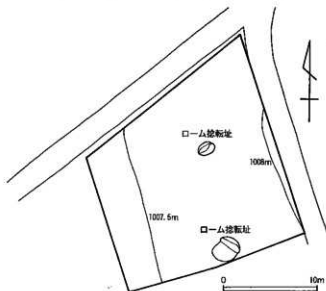
中央道諏訪南インターチェンジの東方約500m附近、富士見町・原村・茅野市の3市町村が境界を接しあう辺りに御射山社が鎮座している。その一帯が御射山遺跡である。これまでに富士見町教育委員会と原村教育委員会では、道路の拡幅や工場建設などの開発事業により、5回におよぶ発掘調査を実施している。今回の調査区は県道弘沢・富士見線の西側の地籍である。

耕土およびその下部の黒褐色土層を平均50cmすき取り、ソフトロームの上面で遺構の検出を試みたが、ほぼ全面に拳〜掌大の地山礫が露呈し、ローム捻転址（倒木痕）が2箇所見られた以外、遺構・遺物は発見されなかった。

なお調査区の南側の畑から、青磁の小片を表採した。



第7図 御射山遺跡と周辺地形図（1：5000）



第8図 御射山遺跡調査区全体図（1：400）



森平遺跡調査風景



御射山遺跡完掘状況（北から）

報告書抄録

ふりがな	つほだいら・もりだいら・みさやま いせき							
書名	坪平遺跡・森平遺跡・御射山遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	樋口 誠司							
編集機関	富士見町教育委員会							
所在地	〒399-0214 長野県諏訪郡富士見町10039-4 電 0266-62-2400							
発行年月日	西暦 2005年3月20日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
坪平	長野県諏訪郡富士見町立	203629	61	35度 55分 36秒	138度 15分 56秒	20041109 ～ 20041127	120	住宅建設
森平	長野県諏訪郡富士見町合落	203629	102	35度 53分 09秒	138度 16分 17秒	20041125 ～ 20041129	48	住宅建設
御射山	長野県諏訪郡富士見町	203629	2	35度 56分 18秒	138度 13分 36秒	20041120 ～ 20041127	367	住宅建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
坪平	集落	縄文	配石	縄文土器・石器				
森平	集落	縄文	小罅穴2基	縄文土器・石器				
御射山	祭祀遺跡	中・近世	倒木痕2箇所	青磁				